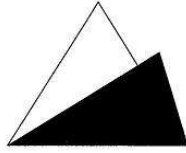


労山

おかやま



Okayama Workers'  
Alpine Federation

2022年9月号 第493号

9月1日

発行 岡山県勤労者山岳連盟

HP <http://okayamakenren.web.fc2.com/>

編集：岡山県連盟機関紙委員会  
(谷川治 吉房一子 蓮岡昇)



涸沢から穂高ザイテングラートを望む(PFC 西岡氏撮影)

1P 表紙、目次

2P 国民平和行進報告・事故報告

3P 県連今年度講習等計画紹介

4P 学生時分の思い出

PFC 西岡悠樹

5-6P 労山 18年間山岳事故概要

(労山川嶋理事長講演資料から抜粋)

7P 理事会報告(第2回)

8P 行事予定・編集後記



## 2022年国民平和大行進報告

岡山県連会長 原田武夫

5月東京を出発した2022年国民平和大行進は7月16日岡山へと引き継がれました。行進は11日間岡山県を横断し、7月26日県境を越えて福山市へ到着、炎天下の夏、延べ41名の県連会員が参加しました。皆さんご苦労様でした。16日に兵庫から行進を引き継ぐ時に兵庫県連会員の方からメッセージを受け取ったのでここに紹介させていただきます。

### 「岡山県のみなさんへ」

中井 護

雨が降ったり晴れたりと不順な天気が続いています。天気と同じで、最近のマスコミ報道はスッキリしません。安倍元首相の事件では「宗教団体」の名前が報道されず、発砲当時の映像ばかり流していました。

それからコロナ感染による死者数の各都道府県別の累計がいつの間にか言われなくなりました。死者数日本一は大阪府（維新の会）であることを知らない人が多くなってます。安倍元首相と統一協会との関係は以前よりうわさとなっていました、今だに掘り下げた統一協会の説明を各メディアとも避けています。

7月10日の参議院選挙へは私も行きました。しかし投票率が52.05%とあまりに低いのに驚きました。国民の半数近くが投票しないなんてほんともったいないことです。今回はウクライナの戦争そして安倍元首相の事件と2つの追い風が保守陣営に吹いたと思います。

核と同じで平和の在り方を広く国民が考査することが今ほど求められている時はありません。以前に比べて組合も弱くなり、全国ネットの国鉄があった事を知る人は年々減っています。国民平和大行進の流れはとても大切です。

暑いですがコロナに気をつけてよろしくお願ひします。7月16日。



### < 事故報告 >

岡山県連遭難対策委員会

8月に1件の事故一報がありました。

日時・場所 2022年7月31日 北岳山頂直下下り道

事故者 女性 66歳 倉敷ハイキング倶楽部

概要 北岳登頂後、山頂直下の下り道で歩行困難になり山梨県警山岳救助隊と消防隊員それに医師の支援を受けながら白根御池小屋まで下山。当日は天候不良でヘリが飛ばず、翌8月1日午前5時15分山梨県警山岳救助隊のヘリに収容され当地の市立甲府病院で診断を受けた。骨に異常がないということでその日のうちに他のメンバーと合流、帰岡した。

事故者及びメンバー（とりわけリーダー）も含めて登山計画書や日ごろの体力訓練は適切だったのか検討が必要な事例と思われる。（遭対策）

## 2022 年度 県連安全登山講習<今後の予定>

### 県連安全登山講習 ② 登山に役立つ岩登り 2022 年 11 月 19 日(土)

～初歩のクライミング技術と岩場の通過技術～

【場 所】 和気の岩場

【講 師】 国際山岳ガイド近藤邦彦氏

【内 容】・岩場通過を安全に行なうための基礎の技術講習  
・簡単な場所で三点支持クライミングの練習後、岩場の通過技術の講習  
・昨年受けられた方は、繰り返し受けられることをお勧めいたします。

### 県連安全登山講習 ③ ロープワーク講習 2022 年 11 月 20 日(日)

～クライミングをされている方対象のロープワーク講習会～

【場 所】 和気の岩場

【講 師】 国際山岳ガイド近藤邦彦氏

【内 容】・ロープワーク(クライミング経験者)に対する講習会  
・安全な懸垂下降のやり方      ・自己脱出      ・アンカーの取り方(バリエーション)  
・正しいランナーの取り方      ・正しいカラビナの使い方

### 県連安全登山講習 ④ 雪山講習

A) 雪山登山者のための実技講習会 《雪山歩行訓練》

B) 雪山登山者のためのビバーク訓練 ※参加条件：冬山登山経験者。

A 2023 年 2 月 18 日(土)    B 2023 年 2 月 18 日(土)～19 日(日)

【場 所】 大山元谷周辺

【講 師】 国際山岳ガイド近藤邦彦氏

【内 容】A 雪山登山に必要な歩行技術とルートファインディング、状況判断、ラッセル技術、スノーシューの使い方他、

※歩行技術・・・登行・下降・トラバース・斜登行

B 危急時対策・・・ビバーク地の選定とビバーク方法

雪山での生活技術 ツェルト、または雪洞でのビバーク技術

### 県連安全登山講習 ⑤ 机上講習 2023 年 3 月 11 日(土)

「安全登山・安心登山(仮称)」(愛知県連登山学校講師 洞井孝雄氏)

### 県連安全登山講習 ⑥ 雪上技術講習 2023 年 4 月 1 日(土)

～雪山登山者のための雪上技術講習会～

【場 所】 大山元谷周辺

【講 師】 国際山岳ガイド近藤邦彦氏

【内 容】 アイゼン、ピッケルワーク

### 県連安全登山講習 ⑦ 観天望気と山の気象講座

2023 年 4 月 15 日(土)～16 日(日)

【場 所】 蒜山

【講 師】 ヤマテン株式会社 気象予報士猪熊隆之氏



※詳細が決まりましたら「労山おかやま」でお知らせいたします。

■実施内容等の問い合わせ先 [conih0307@orion.ocn.ne.jp](mailto:conih0307@orion.ocn.ne.jp) (加治)

## 学生時分の思い出

ピーク・フレンズ・クラブ 西岡悠樹

少しでも山や自然に興味を持ちはじめたのは、東京の大学に通っていたころでした。それまでは都会の高校に通うサッカー小僧でしたが、芽は出ずじまい。大学に入って「サッカーはもう十分やった」ということで、それまでとはまったく違う分野の自然観察・ハイキング系のサークルに入りました。居心地が良かったのかそのまま居続け、大学という4年間の休暇(?)をフルに使って北海道から沖縄までぶらぶらしていました。

なかでもよく通ったのが尾瀬です。当時は尾瀬に常駐する環境省のレンジャーさんのお手伝い「サブレン(ジャー)」というアルバイトもあり、サークル内でもいつも誰かが行っているような身近な存在でした(私はついにサブレンはやりませんでした。。)。テントをかついで燧ヶ岳を越えて尾瀬沼へ。夜は皆で食事を作って、一升瓶飲みながら色々話したものです。至る所に山小屋がある観光地のようなエリアでしたが、手軽に自然が感じられ気持ちいい時間を過ごしました。当時は混雑する時期を避けてい



池塘の向こうに燧ヶ岳

たので、ニッコウキスゲや草もみじはほとんど見られずだったので、いつかまた再訪したいです。(岡山からはかなり遠いですが) 帰りは JR 沼田駅前の「山彦」でとんかつを食べるのが定番

コース。もう20年経ちますが、今でもやっているのでしょうか。



縄文杉

強く記憶に残っているのは台風の屋久島です。台風が近づいているさなかだったので、フェリーとトッピーは運休。なんとか飛行機をとって島にたどり着きました。卒業を控えそれぞれ就職先も決まり、今回を逃せば次は無い、という状況でなんとしても屋久島に一緒に行きたかったのを覚えています。その後、白谷雲水峡の小屋で台風通過を待ち、縄文杉まで行きました。小屋までの道の脇にあった小さな沢は濁流になり文字通り小屋から一步も出られなかった数日。ここでも担いで登った一升瓶をお供に将来について色々話をしていました。

岡山に来てからは、PFC(ピーク・フレンズ・クラブ)に参加し新しい仲間と山を楽しませてもらっています。

これからも記憶・思い出に残る山行を一緒に楽しみたいと思います。